

国際日本研究

第十五号
二〇二三年
三月

研究論文

◆ 平沢 照雄

企業城下町日立における中核企業の外注政策の変化と下請企業・協同組合
—1990～2000年代を中心として—

◆ 柴田 政子

ホロコースト教育から見えてくる「個人」の記憶の教育的活用
—歴史学習教材としてのオーラル・ヒストリー—

◆ 関 能徳

マクロな不平等がもたらす負の外部性は所得再分配選好を規定するのか
—日本の有権者を対象としたコンジョイント分析による実証研究—

◆ 狩野 裕子

コロナ禍の貼り紙がつくる公共のことば
—言語人類学からの一試論—

実践報告

◆ 井出 里咲子、狩野 裕子、大塚 葉月

対話と変容としてのプロジェクト型活動
—「つなげる外国人家族と地域社会プロジェクト」からの報告—

筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム

『国際日本研究』は、筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群国際日本研究学位プログラムにより年に1回発行される、国際的視野を持った日本研究のジャーナルです。

本ジャーナルは、国際比較、国際学の観点から行われる広義の日本研究領域（政治、経済、社会、メディア・情報研究、文化、言語学と言語教育学、芸術、文学研究等）に関する学位プログラム内外の先端的な研究成果を公表することによって、開かれた議論を促進するために刊行されています。

『国際日本研究』を通じて、日本研究・日本語研究をはじめ、国際比較研究、国際学研究がさらに発展することを期待しています。

著作権について

本紀要のウェブサイト (<https://japan.tsukuba.ac.jp/research/>) の掲載内容（著作者を明記した論文等を除く）に関する著作権は、筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群国際日本研究学位プログラムに帰属します。掲載論文等の著作権は著作者に属し、引用や使用許可を含む各論文等の内容に関する責任は著作者にあります。

国際日本研究 第十五号

〔編集委員会〕

タック川崎・レスリー（編集長）
ヴァンバーレン・ルート
平石 典子
ブッシュネル・ケード・コンラン

〔学生編集委員会〕

スペイン・ドリュウ
阿部 春香
マラテ・アシュレシヤ
龐 舒幻

表紙及びロゴデザイン、レイアウト 学生編集委員会

.....
.....
2023年3月15日発行

編集・発行 筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群
国際日本研究学位プログラム
〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1
筑波大学大学院 人文社会ビジネス科学学術院
人文社会科学研究群 国際日本研究学位プログラム
TEL: 029-853-4037
FAX: 029-853-4038
Eメール: jiajs@japan.tsukuba.ac.jp

筑波大学
国際日本研究
第15号
2023年3月

目次

<https://japan.tsukuba.ac.jp/research/>

研究論文

- 平沢 照雄 1
企業城下町日立における中核企業の外注政策の変化と下請企業・協同組合
—1990～2000年代を中心として—
- 柴田 政子 23
ホロコースト教育から見えてくる「個人」の記憶の教育的活用
—歴史学習教材としてのオーラル・ヒストリー—
- 関 能徳 37
マクロな不平等がもたらす負の外部性は所得再分配選好を規定するのか
—日本の有権者を対象としたコンジョイント分析による実証研究—
- 狩野 裕子 53
コロナ禍の貼り紙がつくる公共のことば
—言語人類学からの一試論—

実践報告

- 井出 里咲子、狩野 裕子、大塚 葉月 73
対話と変容としてのプロジェクト型活動
—「つなげる外国人家族と地域社会プロジェクト」からの報告—

『国際日本研究』 投稿規定 (R4. 8月改訂)

- (1)本紀要は、筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院人文科学研究群国際日本研究学位プログラムにより発行され、国際比較、国際学の観点から行われる広義の日本研究領域（政治、経済、社会、メディア・情報研究、文化、言語学と言語教育学、芸術、文学研究等）の学位プログラム内外の先端的な研究成果を公表することによって、開かれた議論を促進するために刊行される。
- (2)本紀要は、(1)の目的にかなう原稿、また本学位プログラムの教育研究活動に資する原稿の投稿を受け付ける。
- (3)本紀要に投稿できる原稿は、以下のものとする。
 - ①未投稿・未発表の原稿。
 - ②学会等で口頭発表され、その旨を明記した原稿。
 - ③本紀要編集委員会の定めた投稿規定およびテンプレートに従った原稿。
- (4)他の学会誌や研究紀要等で出版された原稿と著しく重複する内容の原稿を、本紀要に投稿することは認めない。
- (5)本紀要に投稿できる原稿の種別は、以下のものとする。
 - ①研究論文：「研究論文」とは、新規性を有する研究を報告するものであり、その原稿は、序論、当該研究分野に関する文献及び当該研究に用いられた理論上の構成概念又は枠組みに対する批評、研究を行うために使用した方法、研究のデータ及び結果、そして分析結果及びその含意について論じた結論部分を含んでいることを要する。
 - ②研究ノート：「研究ノート」とは、研究論文のように厳密な構成の文書である必要はないが、学会誌の読者の目に新たな見解をもたらす、理論的な視点、研究計画又は方法的アプローチを進展させることを試みるものであることを要する。
 - ③その他：書評論文、研究調査の内容を資料として提供するもの、教育研究活動についての報告、研究プロジェクトの報告、オーラルヒストリー（史・資料の紹介に重点を置きつつ、考察を加えたもの）等。
- (6)本紀要に投稿することができる者は、次の者とする。
 - ①本学教員または研究員（国内・外を問わない。投稿の際、現在の所属・肩書、住所、電話番号、所属機関から発行されている投稿者のメールアドレス（Gmailなどのフリーメール、独自ドメインのメールアドレスは不可）が明記されていること。）
 - ②国際日本研究学位プログラムに所属する学生（短期プログラム等に参加中もしくは参加経験のある学生を含む）
 - ③本学位プログラムの修了生またはその他本紀要編集委員会が認める者
- (7)本紀要に投稿する者は、以下の責務を負う。
 - ①投稿者は、eAPRIN や eLCoRE 等の大学が定める研究倫理教育を、最低5年ごとに受講する。但し、これらの e-learning 教育を受けることができない者は、これと同等の研究倫理教育を受講することで代替することができる。
 - ②投稿者は、iThenticate 等の論文剽窃検知ツールによりチェックを行い、投稿原稿に既存の著作との類似がないことを確認する。
 - ③投稿者は、投稿原稿に剽窃、データの捏造、改ざん、個人情報等の不当な扱い等の不適切な作成方法が含まれていないという誓約書を提出する。
 - ④明白な権利侵害、現代日本の社会通念上不適切と思われる表現については、特にそれが本文中で考察・分析の対象となっている場合を除き、あるいは研究対象となる文章、発言、その他の資料をそのまま掲載する等の必然性がある場合を除き、避けなければならない。各種権利や社会通念上の問題については、「筑波大学におけるウェブ公開ガイドライン」などを参照すること
(<https://www.u.tsukuba.ac.jp/guideline/>)。
- (8)同一投稿者が複数の原稿を投稿することは、特に禁じない。
- (9)原稿は、日本語または英語を使用し、ワープロ（A4サイズ）にて横書きで作成する。執筆は原則として、査読終了時に提供されるテンプレートに合わせるものとする。
- (10)各原稿の冒頭に、日本語と英語の双方で、氏名、論文タイトル、プロフィール（所属・肩書）、要旨（英文原稿の場合150語程度の英文要旨のみ、和文原稿の場合150語程度の英文要旨および400字程度の和文要旨）、キーワード（英文原稿の場合5語まで、和文原稿の場合は日本語と英語で各5語まで）を明記する。
- (11)英文原稿は英語母語話者のチェック、和文原稿は日本語母語話者のチェックを受けておくことが望ましい。
- (12)一度提出した原稿の差し替えは原則として認めない。また、投稿原稿は返却しない。
- (13)投稿原稿に対する査読は、以下の規定に従って行われる。
 - ①本紀要編集委員会が投稿原稿の全てについて精査した上で、投稿者に原稿の加筆・修正を求めることができる。
 - ②投稿原稿1件について査読者を2名以上とし、当該原稿が該当する研究分野を専門とする者とする。
 - ③査読は、本紀要編集委員会が、原則として人文社会系構成員に対して依頼する。人文社会系構成員に適任者がいない場合には、人文社会系以外の教員又は学外者に対して、国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長が依頼する。
 - ④査読者は、査読結果について、国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長に報告する。投稿原稿に不適切な作成方法が含まれている疑いがあると判断する場合は、その旨を国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長に報告する。
 - ⑤本紀要編集委員長は、採録、加筆・修正または不採録についての査読結果を、その理由を付して投稿者に通知する。個々の査読者の判定結果及び査読者の氏名は、投稿者に対して通知しない。
 - ⑥投稿者は、査読結果について、別途定める手続きにより、本紀要編集委員長に不服申立てをすることができる。
- (14)投稿原稿の採録、加筆・修正または不採録に関する裁定は、査読結果に基づき、本紀要編集委員会が行う。投稿原稿の採否について査読者の意見が分かれた場合、国際日本研究学位プログラムリーダー及び本紀要編集委員長は、別の査読者に査読を依頼し、本紀要編集委員会が最終的に採否を決定する。
- (15)採録決定者は、査読結果に関する通知を受けた後、入稿用の原稿を作成し、電子ファイルをメール添付で指定された日時までに提出する。
- (16)『国際日本研究』に掲載された原稿は、筑波大学つくばリポジトリ等で電子化され、保管され、本学位プログラムのホームページにおいても、PDF形式で公開される。
- (17)発行回数は年1回以上とする。紀要別冊を設ける場合もある。

原稿提出先・問い合わせ先

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院人文社会ビジネス科学学術院
人文科学研究群国際日本研究学位プログラム
『国際日本研究』紀要編集委員長宛
jiajs@japan.tsukuba.ac.jp

※原稿募集については、以下のウェブサイトをご参照ください。
<https://japan.tsukuba.ac.jp/research>

Journal of International and Advanced Japanese Studies

Submission Guidelines

(Revised in August 2022)

1. The Journal of International and Advanced Japanese Studies is published by the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies, Degree Programs in Humanities and Social Sciences, Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba. The Journal aims to promote open debate through publishing the results of leading research in Japanese Studies and welcomes submissions from the perspectives of cross-national and international studies (encompassing politics, economy, society, media and information studies, culture, linguistics and pedagogy, the arts, and literature).
 2. Manuscripts that contribute to the purpose outlined above and to the Program's educational practices and research activities will be considered.
 3. The following manuscripts will be considered for publication:
 - A) Unpublished manuscripts that are not under review elsewhere.
 - B) Manuscripts that are clearly identified as based on oral presentations.
 - C) Manuscripts that conform to the submission guidelines and template specified by the Editorial Committee.
 4. Manuscripts that significantly overlap in content with those published in other academic journals or research bulletins will not be accepted.
 5. The following types of manuscripts will be considered:
 - A) Research Articles: A "research article" is a fully structured academic paper that reports on original research. The manuscript must include an introductory section, a critical review of the literature in the field and any theoretical constructs or framework used in the research, the method(s) employed to undertake the research, the data/results of the research, and a concluding section discussing the findings and implications.
 - B) Research Notes: In terms of content and structure, a "research note" may differ from a research paper. However, it should attempt to advance a new idea, theoretical perspective, research program, or methodological approach.
 - C) Other papers: Review articles, research survey reports, reports on educational or research activities, research project reports, and oral histories (with a focus on introducing and discussing historical and factual materials), etc.
 6. Those who are eligible to submit to the Journal are as follows:
 - A) University-of-Tsukuba-affiliated faculty members or researchers (in Japan and abroad; contributors must indicate their current affiliation, title, phone number, and institutional email address. In order to confirm affiliation, free email addresses such as Gmail and private email addresses are not acceptable.).
 - B) Students (including short-term students) who are affiliated with the Program.
 - C) Alumni or other contributors as deemed eligible by the Editorial Committee.
 7. Authors intending to submit manuscripts for consideration by the Journal have the following responsibilities:
 - A) Authors must demonstrate that they have taken an educational course on research ethics, such as those provided online by the University of Tsukuba that include eAPRIN and eLCoRE, within the past five years. Those potential authors who are unable to take the University of Tsukuba's online research ethics courses are allowed to submit proof that they have taken one or more equivalent courses.
 - B) Authors must undertake the task of checking their manuscripts with anti-plagiarism software (such as iThenticate) to confirm that the content of their submission does not significantly overlap with that of previously published research.
 - C) Authors must attest that their manuscripts are not plagiarized, that the data referred to within the manuscript has not been falsified, and that there has been fair and legal treatment of any collection of personal and identifiable data.
 - D) Expressions that are clear violations of rights or that are considered inappropriate under social conventions in contemporary Japan should be avoided, unless they are the subject of discussion and analysis in the text, or unless there is a necessity to publish research-related text, talk, and other materials verbatim. For information on various rights and issues regarding social conventions, refer to the "Guidelines for Releasing Information on the Web at the University of Tsukuba" (<https://www.u.tsukuba.ac.jp/en-guideline/>).
 8. There is no limit as to the number of manuscripts that may be submitted.
 9. Manuscripts must be written in either Japanese or English and formatted for A4-size paper using word processing software. Manuscripts are required to follow a template that will be made available after the review process is completed.
 10. Each manuscript must include: (1) Author(s) name(s), (2) Title, (3) Affiliated institution(s) and job title(s), (4) Abstract (about 150 words in English for all manuscripts; Japanese-language manuscripts also must include a Japanese-language abstract of about 400 characters); and (5) Keywords (maximum of 5 words; in English for all manuscripts; Japanese-language manuscripts also must include keywords in Japanese).
 11. Prior to submission, it is highly recommended that English-language manuscripts be checked by a native English speaker and Japanese-language manuscripts be checked by a native Japanese speaker.
 12. In principle, originally submitted manuscripts may not be replaced by updated versions and submitted manuscripts will not be returned.
 13. Submitted manuscripts will undergo the following peer review process:
 - A) The Editorial Committee will review all manuscripts and may ask authors to supplement or revise the content of their manuscripts.
 - B) Each manuscript will undergo a peer review process by at least two peer reviewers who are specialists in the appropriate academic field.
 - C) In principle, the Editorial Committee will request reviews from researchers affiliated with the Faculty of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba. If necessary, the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the Editorial Committee will request reviews from researchers affiliated with other programs within the University of Tsukuba or from researchers affiliated with educational institutions outside the University of Tsukuba.
 - D) Peer reviewers will report the results of the peer review process to the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the Editorial Committee. Any issues that may arise concerning inappropriate creation methods (including plagiarism, data falsification, or breaches in the handling of personal and identifiable information and/or data) will be reported to the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the head of the Editorial Committee.
 - E) The head of the Editorial Committee will inform the author(s) of the decisions of the peer review process, as well as reasons for acceptance, revision, or rejection. Neither individual peer reviewers' results nor their names will be communicated to the authors.
 - F) Authors may appeal the results of the peer review process to the head of the Editorial Committee through a separate set of procedures.
 14. Decisions as to acceptance, revision, or rejection, based on the results of the peer review process, will be made by the Editorial Committee. In cases where there is non-agreement between peer review results, the Program Leader of the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies and the head of the Editorial Committee may request further peer reviews of the manuscript under consideration. The final decision as to acceptance, conditional acceptance, or rejection will be decided by the Editorial Committee.
 15. Authors whose papers have been accepted for the Journal must prepare the manuscript for publication and submit it through email by the due date designated by the Editorial Committee.
 16. The Journal will be stored electronically in the Tsukuba Repository (University of Tsukuba Library). The papers will be also available in PDF format on the Program's website.
 17. The Journal is published at least once per year. Supplements may also be published.
- Address for submissions and/or inquiries:
- Editorial Committee
Journal of International and Advanced Japanese Studies
Master's and Doctoral Programs in
International and Advanced Japanese Studies
Degree Programs in Humanities and Social Sciences
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social
Sciences
University of Tsukuba
Tennodai 1-1-1, Tsukuba-shi, Ibaraki-ken, JAPAN 305-8571
jjajs@japan.tsukuba.ac.jp
- *For the CFP, please refer to our website:
<https://japan.tsukuba.ac.jp/research>

University of Tsukuba
Journal of
International and Advanced
JAPANESE STUDIES

Volume 15 / March 2023

Table of Contents

<https://japan.tsukuba.ac.jp/research/>

Articles

- | | |
|---|----|
| ■ Teruo HIRASAWA
Changes in Outsourcing Policies by the Regional Core Company and Subcontractors and Cooperative Associations in the Company Town Hitachi, Japan from the 1990s to the 2000s | 1 |
| ■ Masako SHIBATA
The Educational Use of Holocaust Survivor Memories: Oral History as Teaching Materials | 23 |
| ■ Katsunori SEKI
Do Negative Externalities Caused by Macroinequality Determine Preferences for Income Redistribution? An Empirical Study of Japanese Voters Through Conjoint Analysis | 37 |
| ■ Yuko KANO
Capturing Public Discourse Through Store Notices Under COVID-19: A Linguistic Anthropological Analysis | 53 |

Practice Report

- | | |
|--|----|
| ■ Risako IDE, Yuko KANO & Hazuki OTSUKA
Project-based Activity as a Place of Dialogue and Modification: A Report from the “Connecting Foreign Residents with the Local Community” Project | 73 |
|--|----|

The *Journal of International and Advanced Japanese Studies* is published by the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies, Degree Programs in Humanities and Social Sciences, Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba. The *Journal* aims to promote open debate through publishing the results of leading research in Japanese Studies and welcomes submissions from the perspectives of cross-national and international studies (encompassing politics, economy, society, media and information studies, culture, linguistics and pedagogy, the arts, and literature).

The *Journal of International and Advanced Japanese Studies* aims at contributing to the development of research involving Japanese Studies, Japanese Linguistics, International Comparative Studies, and International Studies.

Notice Regarding Copyright

The copyright for the content of each submission rests with its respective author(s), and they take full responsibility for the content of their submission, including quotations and usage permission. Except where copyright privileges are explicitly indicated to be held by the author(s), the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies, Degree Programs in Humanities and Social Sciences, Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba, holds the copyright for this *Journal* and its related content posted on the Program's website (<http://japan.tsukuba.ac.jp/research/>).

Journal of International and Advanced Japanese Studies, Volume 15

[Editorial Board]

Leslie TKACH-KAWASAKI (Editor-in-Chief)
Ruth VANBAELEN
Noriko HIRAISHI
Cade Conlan BUSHNELL

[Student Committee]

Drew SPAIN
Haruka ABE
Aashlesha MARATHE
Shuhuan PANG

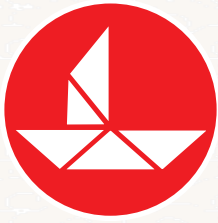
Cover and logo design, page layout by the Student Committee

.....
Published on March 15, 2023

Edited and Published by

Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies,
Degree Programs in Humanities and Social Sciences,
Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences,
University of Tsukuba

Copyright ©2023 by the Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies, Degree Programs in Humanities and Social Sciences, Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba. All rights reserved.



Journal of International and Advanced **JAPANESE STUDIES**

Volume 15 / March 2023

Articles

- ◆ **Teruo HIRASAWA**
Changes in Outsourcing Policies by the Regional Core Company and Subcontractors and Cooperative Associations in the Company Town Hitachi, Japan from the 1990s to the 2000s
- ◆ **Masako SHIBATA**
The Educational Use of Holocaust Survivor Memories :
Oral History as Teaching Materials
- ◆ **Katsunori SEKI**
Do Negative Externalities Caused by Macroinequality Determine Preferences for Income Redistribution?
An Empirical Study of Japanese Voters Through Conjoint Analysis
- ◆ **Yuko KANO**
Capturing Public Discourse Through Store Notices Under COVID-19 :
A Linguistic Anthropological Analysis

Practice Report

- ◆ **Risako IDE , Yuko KANO & Hazuki OTSUKA**
Project-based Activity as a Place of Dialogue and Modification:
A Report from the “Connecting Foreign Residents with the Local Community” Project

Master's and Doctoral Program in International and Advanced Japanese Studies,
Degree Programs in Humanities and Social Sciences, Graduate School of Business Sciences,
Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba